

いいね!

2020/5/12

かつ子リポート「直送便」

市議員の活動は多種多様。その現場の「今」をお伝えし、社会の未来を皆様と共有する新・新聞に挑戦! 選挙のための政治にストップ!

事務連絡

発行元:
興石且子 政務活動事務所
横浜市栄区桂町325-1-103B
TEL: 045-443-8166
FAX: 045-443-8167
koshiishijimusho@gmail.com

#016

地域防災拠点の看板設置が実現しました!!



写真は本郷小学校に設置されたものです。
皆さまもぜひ探してみてください。

大地震の時の避難先である「地域防災拠点(以下拠点)」として、皆さまのお近くにある小中学校などが指定されています。

それぞれの拠点では年数回の避難訓練が行われていますが、残念なことに参加者数は1割にも満たないとされ、参加メンバーも年々固定されてきています。参加したことがない方や、拠点の場所を知らない方もいます。

身近な小中学校がいざという時の避難所になることを知っていただくことは、学校に通う子どもたちやご家族だけでなく、ご近所の皆さまにとっても防災に対する備えのひとつとしてとても大切なことです。

そこで私は、これらの場所に「地域防災拠点」とひとめでわかる「看板」を設置するよう提案し続けてきました。

学校は教育委員会が管理するものなので、設置後の看板の管理など解決すべき課題も多く、実現までに2年以上かかってしまいました。

ですがこのたび、他区に先行して栄区内で設置されることとなりました!

ひとまず各校に1枚ずつですが、学校のご協力で効果的な場所を検討していただきました。看板がより効果的に機能するよう、さらに「QRコード」などの追加も提案していきます。

皆様もぜひアイデアをお寄せください。

各家庭での災害時備蓄に対する費用補填の可能性は?

「災害救助法」改正で横浜市も適用対象となり一年が経ちました(平成31年4月1日実施)。

災害救助法改正により、大規模災害時に横浜市が自衛隊や日本赤十字社に対して救助要請ができるなど、発災直後の救助活動をよりスピーディに行うことができる権限を都道府県だけでなく政令指定都市にも適用する法改正です。

しかし、過去に経験のない本市では、「メリット」とともに生じる「義務」等について、事前の想定やシュミレーションが足りていないのではないかと。

栄区民の方からのご指摘を受けて、活動を開始しています。

特に食料備蓄についての横浜市の義務の履行はまだ十分とは言えません。

そこで横浜市の義務である備蓄を、市民一人ひとりにご協力いただき、ご協力に対して補助する仕組みを作ればよいと考えています。法施行細則によれば、食品給与の経費として「1人あたり1日1,160円以内」という金額も設定されています。これを検討の基準にして提案を進めたく思っています。今後もみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



ホームページでも
ご紹介しています。

<https://koshiishikatsuko.jp/3447/>

～オンライン開催も計画中!～

毎月11日は
さかえ横浜会議の日!

横浜市議員・自民党員

こしいしかつ子

かつ子リポート



—選挙のための政治はSTOP!! 本質を求めて粘り強く—



コロナ対策について①

こしいしかつ子HPにも同じ記事を掲載しています。各サイトへの直接リンクもあり使いきやすいのでぜひアクセスしてください。



コロナ対策に関して様々な情報がありますが、正式なものとして厚生労働省ホームページが重要です。経済支援を中心に整理されており、順次更新されていますので、ぜひご確認ください。

▼厚生労働省 生活を支えるための支援のご案内

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000622924.pdf>

▼自民党 新型コロナウイルスにともなうあなたが使える緊急支援

<https://www.jimin.jp/covid19/>

▼横浜市 新型コロナウイルス感染症「くらし・経済対策」

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sonota/kurashi_keizai.html

横浜市も5月15日に事業計画を補正予算議決する予定です。

補正予算は総額 5,743億円（見込み）で、その原資はほぼ国費。横浜市の支出は10億円のみとなっています。こしいしかつ子HP（4月29日）もご覧ください。

主な歳出

- ① 特別定額給付金「10万円」の横浜市民総計額：3,796億円
- ② 子育て世帯臨時特別給付金：42億円
- ③ 学校施設ICT環境整備：100億円 …今回国費があてられ前倒し実施
- ④ 融資制度のための「預託金」：1,650億円 …年度末に横浜市に戻ります
- ⑤ その他

具体的な事業

①感染拡大防止と医療体制提供：31事業（145億円）

- 旧市民病院を軽症者・無症状陽性患者の宿泊療養施設として活用 ●PCR検査強化
- サージカルマスク55万枚・アルコール4,000ℓ・防護服500セット購入費用 ●保育所等対策費助成
- 学校施設感染症対策 ●高齢者施設個室化支援 ●横浜市大抗ウイルス抗体検出キット研究事業 等

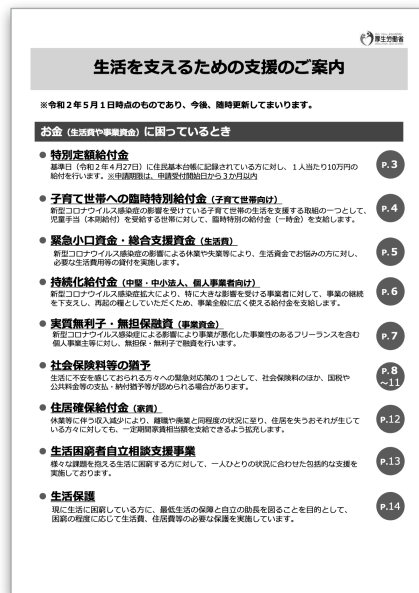
②市民生活支援：6事業（3,845億円）

- 横浜市独自支援として児童虐待やDV対策の広報を実施
- 資源集団回収事業者緊急支援 ●住宅セーフティネット構築事業 等

③企業・事業活動の支援：13事業（1,752億円）

- 本市独自の保証料助成付き融資の利用者へ横浜市信用保証協会へ支払う保証料助成（本来の事業の拡大）
- 商店街活性化事業※ ●就職氷河期支援 ●シングル等相談支援

※商店会やそれに準ずる団体へ加盟店舗数に沿って支給予定です。この使い方を実際の事業者と話し合いを進めています。単なる給付に留まらず、今後の発展に寄与できる使い方を是非模索していただきたくよろしくお願いいたします。そのためには家賃や人件費などのランニングコストの減免や支払猶予に結びつく政策を国県市に訴え続けていきます。



楽しみだった落花生、あらいぐまに「ヤラレタ〜！」

定年後、JA横浜と県農業技術センターの講座を卒業した「農業2年生」の私にとっては毎日が試行錯誤の農業です。売れる野菜を先輩達があまり作っていない物にチャレンジ、落花生を作り始めて2年目の今年は畑に12作400本の苗を植えました。夏の草取りや追肥、カラス対策を行って迎えた1作目の収穫では10~15kgの大粒な落花生が取れ、直売所に出荷したり友人に配るなど大変喜ばれていました。最終的な売上が楽しみでしたが、2作目はアライグマ等の被害に遭い、収穫は予定の1/3以下。ガ〜ン!! 今後の対策にチャレンジする日々が続いています。

PN●農業新人2年生(栄区在住)



コラム担当者募集中! 起業・お笑話・名言などご提案ください♪

※気軽に書いてみませんか? 事務局の判断でお断りさせていただくこともありますのでご了承ください。

事務連絡